

～地域包括ケアシステムにおける小規模多機能の今後～

小規模多機能型居宅介護は、制度化され10年目を迎え、地域包括ケアシステム構築の中心的サービスのひとつとなっています。特に制度化されたときの「通いを中心に随時訪問や宿泊を組み合わせる」サービスから、新たに訪問体制強化加算も導入され、更に一部では地域支援事業を含めた地域展開を行うなど、地域での暮らしを支えるものへと発展してきています。これから小規模多機能型居宅介護が、地域包括ケアシステムの中で、どこまでどのような役割を担えるのか、そのための要件は何か、医療との連携のあり方など、実態の把握の中から展開のあり方や方向性および課題について検討を行うことを目的に調査研究したものをお伝えします。

◆期　　日　　2016年3月23日（水）10:30～17:00まで

◆会　　場　　世界貿易センタービル roomA（JR山手線・浜松町駅直結）

◆内　　容

10:00～ 開場

10:30～11:30 全国実態調査「小規模多機能型居宅介護の動向」

東北工業大学石井研究室

井上 博文

11:30～12:30 昼食・休憩

12:30～14:45 「小規模多機能型居宅介護の実践のから考える今後の論点整理」

◆医療との連携 後藤 裕基 × 吉井 靖子
(明輝会) (こぶし園)

◆地域拠点 竹本 匠吾 × 菅原 健介 × 安倍 信一
(地域でくらす会) (ぐるんとびー) (慈光会)

◆地域支援事業 山田 尋志 × 北口未知子
(新しい総合事業) (きたおおじ) (加賀市)

◆質の確保 黒岩 尚文 × 柴田 範子 × 党 一浩
(サービス評価等) (よかあんべ) (ひつじ雲) (めおといわ「ゆい」)

15:00～17:00 小規模多機能型居宅介護の展開と今後

～地域包括ケアシステムにおける小規模多機能の今後～

パネラー 社会福祉法人こうほうえん 東京事業本部長 川尻 良夫
社会福祉法人恵仁福祉協会（長野県） 常務理事 宮島 渡
社会福祉法人共友会（石川県） 理事長 岩尾 貢
特定非営利活動法人コレクティブ（熊本県） 理事長 川原 秀夫
厚生労働省老健局振興課 課長補佐 稲葉 好晴
コーディネーター 立教大学コミュニティ福祉学部 教授 森本 佳樹

◆参加費 無料 ※資料代1,000円。

◆申込方法 申込〆切：3月18日（金）

①参加希望の方は下記に必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください（定員：100人）。

②折り返し、この参加申込書に受付印を押したうえ、会場地図等を添付し、FAXにて返送いたします。当日はその参加申込書をお持ちになり会場までお越しください。

小規模多機能型居宅介護の今後（H27報告会）/

Fax:03-6430-7918

※FAX番号はお間違えのないようお願いいたします。		事務局受付日： 月 日	受付印
参加者名	①	②	
所属（事業所）			
住 所	〒		
T E L		F A X	